

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

|         |                     |            |            |
|---------|---------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 019300072           |            |            |
| 法人名     | 株式会社すまいるふらの         |            |            |
| 事業所名    | ごりょうの丘 グループホーム（菜の花） |            |            |
| 所在地     | 富良野市字下御料            |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成29年11月26日         | 評価結果市町村受理日 | 平成30年1月23日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先URL | <a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail.2017.022_kan=true&amp;JigyosyoCd=0193000072-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail.2017.022_kan=true&amp;JigyosyoCd=0193000072-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a> |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 評価機関名 | 株式会社 サンシャイン           |
| 所在地   | 札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F |
| 訪問調査日 | 平成29年12月5日            |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ごりょうの丘グループホームは、へその町「富良野市」にあり、周囲は春になると桜が満開になる朝日ヶ丘公園が 近所にあったり、富良野スキー場が見渡せる大自然に囲まれた心休まる、安心のできる静かな環境に立地しています。

グループホーム内のリビング横には土間があり、夏には中庭に出入りすることができ、中に菌には花壇や野菜畑を入居者様と作り、園芸、収穫を楽しんでいます。外で汚れても土間からすぐ横に浴室があり出入りできる設えとなっており、さらにはヒバのお風呂でくつろいでいただけます。施設の構造として、グループホーム、小規模多機能ホーム、託児所、地域交流館が渡り廊下でつながっており、自由に行き来ができるため、小規模多機能ホームに通いの利用者様とカラオケやレクリエーションを共に行ったり、託児所の子供たちがダンスを見せに来てくれたり、地域交流館ではボランティアを含めた地域の方々と一緒に体操などの健康づくりや行事等を楽しむことができ、日々笑顔の絶えない心豊かな生活を心掛け、大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

「ごりょうの丘グループホーム」は、JR富良野駅からバスで10分ほどの場所にある2ユニットの事業所で、建物は法人施設と一体的な造りになっている。広い敷地に別棟で同一法人の有料老人ホームがある。建物の中庭では託児所の子供達と触れ合い、花壇整備や畑作りに利用者も参加して採れた野菜類で収穫祭や、おやつ作りを楽しんでいる。クリスマス時期には中庭にイルミネーションを飾り、屋内の窓から眺めて季節感が楽しめる。1階にある地域交流館の行事や健康づくり体操などに参加し、法人施設の利用者や住民と交流している。代表者は介護施設に勤めた体験から少人数で家庭的に暮らす環境を理想に、平成28年に当事業所を開設している。経営理念と年度の方針を周知し、代表者、管理者および職員は一丸となって事業所理念に基づいてサービスを提供している。本人・家族の意向を「ライフサポートプラン」に記載し、常に話し合い馴染みの関係や入居前の趣味を継続できるように支えている。代表者は職員の育成と信頼できるチームづくりを熱心に進めている。月1～2回の研修で職員は学びながらチームケアに取り組んでいる。運営推進会議と同日に消防署と住民の協力を得て、水害を想定した避難訓練を行い、利用者も炊き出しのおにぎり作りに参加している。リクエストで食事を楽しみ、外出の機会も多い。家族・地域とのつながりの中で、本人らしい暮らしが出来るように個別の意向を実現させている。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>（参考項目：23,24,25）     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>（参考項目：9,10,19）   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>（参考項目：18,38）           | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>（参考項目：2,20）                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>（参考項目：38）                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>（参考項目：4） | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>（参考項目：36,37）   | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、活き活きと働けている<br>（参考項目：11,12）                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>（参考項目：49）                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>（参考項目：30,31）       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>（参考項目：28） | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                             |                                                                   |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価       | 外部評価 | 項 目                                                                                                                          | 自己評価(菜の花)                                                                                                  | 外部評価(事業所全体)                                                                                                     |                   |
|------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|            |      |                                                                                                                              | 実施状況                                                                                                       | 実施状況                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅰ.理念に基づく運営 |      |                                                                                                                              |                                                                                                            |                                                                                                                 |                   |
| 1          | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着 型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                                                          | 家族や地域とのかかわりを断つことなく、これまでの暮らしと変わらぬ生活を支援させて頂くことを理念に取り入れ、全職員、来訪者様の見える入口に表示しています。職員は名札の裏にも理念を入れて、日々確認実行に努めています。 | 「4つの誓い」の法人運営理念に沿って作成した事業所理念に家族・地域とつながる暮らしの内容が入っている。職員の入社時研修や毎月のカンファレンスで理念を確認し、職員は名札裏に記載してある理念を常に意識してケアを行っている。   |                   |
| 2          | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                                                           | 地域との交流を大切に考えており、夏には毎年「夏祭り」を行い、沢山の参加を頂いております。避難訓練にも参加いただき、災害を想定した炊き出しを一緒に行ったり、町内会のふれあいサロンにも毎月参加お誘いを頂いております。 | 町内会行事に積極的に参加し、毎月町内会館で行われる高齢者対象の「ふれあいサロン」に出かけて住民と交流している。「動物と触れ合いの日」には、住民も犬を連れて参加し、法人で飼っている犬やウサギに触れて楽しんでいる。       |                   |
| 3          |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                                                         | 認知症カフェ、認知症サポーター養成講座等地域の方もご参加いただける研修を開催しております。また、地元の高校にも出向き「高齢者」や「認知症」の理解を深めるために講習会を実施したり実際に交流したりしています。     |                                                                                                                 |                   |
| 4          | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                      | 2か月に1回と定期的に行っております。自治会長や民生委員、町内会長や市の担当者、入居者様とご家族様の参加を頂き、現状報告や行事、事故報告などを行い、意見や助言を頂いております。                   | 2か月ごとの会議で、外部評価、グループホーム事業所間の総合評価、防災や水害時の炊き出し、毎回のミニ講座など活発に意見を交換している。会議案内や議事録を全家族に送付し、2名ほどの参加が得られている。              |                   |
| 5          | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                                                | 運営推進会議に毎回ご参加頂き貴重なアドバイスを頂いております。また、不明点があれば親身になって相談に乗ってくださるなど、入居者のよりよい生活のために協力関係を築いております。                    | 訪問や電話で運営のことを市の担当者に確認することもある。NPO法人主催の「ほっとカフェ」に利用者也参加して交流している。代表は地元の高校に出かけて認知症理解への講習会を行い、また高校生が来訪して装飾づくりを一緒にしている。 |                   |
| 6          | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 平成29年11月より「身体拘束委員会」を設立し、会議での意見交換や勉強を行ったり、マニュアル作成を行い全職員に周知し、今後も社内研修を行っていく予定です。                              | 事業所に「身体拘束委員会」を設置し、代表者、役職者、職員4名の構成で、年2回ユニット合同の勉強会を行い、拘束をしないケアに取り組んでいる。マニュアルに身体拘束禁止行為11項目を明示して理解を深めている。           |                   |
| 7          |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                       | 「虐待防止」について研修を行い、全職員で確認を行えています。日々の支援での言動を職員間でも注意し、入居者様の身体状況の変化なども注意深く観察し、特変事項は報告や記録に残すなどの統一した取り組みを行っています。   |                                                                                                                 |                   |

ごりょうの丘 グループホーム

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                            | 自己評価(菜の花)                                                                                                                      | 外部評価(事業所全体)                                                                                                  |                   |
|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|      |      |                                                                                                | 実施状況                                                                                                                           | 実施状況                                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 毎年、法律に詳しい専門家による社内研修を行い、全職員知識の向上に向けて努力しています。日々の暮らしの中での必要性やリスクが上がった段階で話し合い、相談できる体制を整えています。                                       |                                                                                                              |                   |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 入居者様、ご家族様に対し分かりやすく説明させて頂き、不明点、質問、疑問には細やかな対応を心掛けています。                                                                           |                                                                                                              |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                      | 施設入り口にはご意見箱を設置し、ご家族様などから意見を頂きやすい工夫をしています。毎月、ホームだよりを送らせて頂いたり、ご家族が見えられた時には積極的に声を掛けて意見を頂いております。                                   | 来訪頻度が少ない家族に電話やメールで意向を聞き、来訪時には家族の役割について話し合っている。解決が必要な事例は「相談・苦情対応シート」に記載し職員間で検討している。今後は些細な想いの把握から個別の記録も考えている。  |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月のユニット会議や、日々のチームミーティングで出た意見を組織の一元管理で、経営者の耳に届くよう報告連絡相談を密に行う努力をしています。年に2回は運営推進会議を設け、意見交換を実施しています。                               | 会議に参加できない職員の意見を事前に聞き、ケアや業務について活発に意見を交換している。提案で即決できない時は法人役職会議にあげて意向を反映している。代表者は年1回個別面談を設け、仕事内容や目標について話し合っている。 |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 人事考課測定の実施や個人の目標設定と面談の実施、キャリアアップの明確化と周知によって賃金改定の説明を実施するなどの整備に努めている。                                                             |                                                                                                              |                   |
| 13   |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 社内・社外で研修を受けられる機会を確保している。上半期・下半期で個人目標を設定し、向上心を持てるよう努めている。また、初任者研修や実務者研修、介護福祉士や介護支援専門員、認知症ケア専門士などの資格取得に向けて時間や金銭、対策講座等の支援を実施している。 |                                                                                                              |                   |
| 14   |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域ケア会議への出席により積極的に交流を深めております。また、他施設の見学や実習生の受け入れを行い交流を深めております。                                                                   |                                                                                                              |                   |

| 自己評価                | 外部評価 | 項 目                                                                                     | 自己評価(菜の花)                                                                                    | 外部評価(事業所全体)                                                                                                          |                   |
|---------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                     |      |                                                                                         | 実施状況                                                                                         | 実施状況                                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |      |                                                                                         |                                                                                              |                                                                                                                      |                   |
| 15                  |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前面談に伺い、ご本人様の普段の生活を聞かせて頂き入居後も不安なく今までと変わらない生活を送って頂けるように配慮して信頼関係作りに努めています。                    |                                                                                                                      |                   |
| 16                  |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居前にご家族様の話を伺いご家族様の想いや要望をお聞きし心配事相談事苦情はいつでも伝えて頂きたいとお話させて頂いております。                               |                                                                                                                      |                   |
| 17                  |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | ご草案を受け、ご家族様本人様双方のお話を伺い、課題抽出、分析を行い、施設を見学に来ていただきサービス利用を検討して頂いています。                             |                                                                                                                      |                   |
| 18                  |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | 日々の生活の中で職員も家族の一員として共に生活を楽しんでいます。入居者様の負担にならないことを考え、共に畑作、日常生活(家事など)を行い、豊かな生活となるよう支援させて頂いております。 |                                                                                                                      |                   |
| 19                  |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている            | ライフサポートプラン(介護計画)に家族の支援の位置づけを、ご家族や職員と一緒に話し合っ、支え合う関係を築く努力をしています。また、現状がわかるようにホームだよりを発行しています。    |                                                                                                                      |                   |
| 20                  | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | ご本人の希望があれば、できるだけ外出支援させて頂きます。思い出の風景や場所に同行させて頂いております。馴染みの友人や親戚、知人の方には気軽に来て頂けるような雰囲気づくりをしています。  | スキーマの先生だった利用者が小学生にスキーマを教えるに行っている。家族や職員の同行で、好みの食事や、新鮮な魚を食べに市場に出かけている。関心のある美術館や図書館に出かけ、畑作りの得意な方を活かすなど、個別の意向に沿って支援している。 |                   |
| 21                  |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                    | 入居者様同士のこれまでの人間関係に配慮し、「昔知っていた」などの情報から交流の場を持てるよう、カラオケや体操、散歩、畑づくりなどにお誘いし、仲間づくりの支援に心掛けています。      |                                                                                                                      |                   |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項 目                                                                                                    | 自己評価(菜の花)                                                                                                         | 外部評価(事業所全体)                                                                                                           |                                                                         |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実施状況                                                                                                              | 実施状況                                                                                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容                                                       |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院中の方にはお見舞いに行かせて頂き関係性を大切にさせて頂いています。また、退去された方のご家族と連絡を取り、認知症カフェにお誘いし関係を繋いでいます。                                      |                                                                                                                       |                                                                         |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                                                                   |                                                                                                                       |                                                                         |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | ご家族様に、昔されていたことや趣味などを伺ったり、ご本人の会話や行動から思いに気づき、ユニット会議やカンファレンスを行いより良い生活を送って頂けるようご家族を含め検討しています。                         | 基本情報で暮らしの情報を把握し、3か月ごとに24時間シートや課題分析表を更新している。入居時に作成している、本人の姿の「元気の素」シートを見直すまでには至っていない。                                   | 「元気の素」シートに暮らしや趣味嗜好などが分かり易く記載されているので、変化の追記や定期的な更新で、現状の姿を把握し共有できるよう期待したい。 |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居前の生活歴やカンファレンス、ご本人からの情報を収集し、スタッフ全員がその情報はあかし、ご本人が今までと変わらない暮らしになるよう努めている。                                          |                                                                                                                       |                                                                         |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 個別の介護記録に入力しています。また、変化があれば記録に残し申し送りで伝えています。看護師と連携を取りスタッフ全員が把握するよう努めています。                                           |                                                                                                                       |                                                                         |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々の生活の中から得た情報や希望を反映できるよう介護支援専門員だけで計画の作成にならないよう配慮しています。計画を基本とし、その情報を基にユニット会議やカンファレンスを実施し、情報共有し、現状に合った介護計画を作成しています。 | 「ライフサポートプラン」の見直し時に、担当職員が24時間「私の暮らしまとめシート」でモニタリングを行い、カンファレンスで評価し3か月毎に更新している。日々の記録では実施内容が主になっており、今後は支援内容の変化の記載方法を考えている。 |                                                                         |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 担当職員を決め、毎月定期的に記録や関わりの中からモニタリングを実施しています。そのうえで、必要に応じて計画の見直しも実施しています。また、看護師との連携も図っています。                              |                                                                                                                       |                                                                         |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご本人の体調に合わせてのケアに取り組んでいます。利用者様のニーズに合わせたサービス提供ができるよう、何が必要かまた何が不足しているかを話し合い実践に向けて取り組んでいます。                            |                                                                                                                       |                                                                         |
| 29                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 地域のボランティアの方々、学生ボランティアの協力を頂き、ご本人の力を発揮でき、安全かつ豊かな暮らしを支援しています。                                                        |                                                                                                                       |                                                                         |
| 30                                 | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                     | ご本人、ご家族様の希望に応じ、適切な医療への支援ん位心掛けています。24時間体制で看護師もしくは管理者が臨時、救急対応をしています。                                                | かかりつけ医を継続し、受診は概ね事業所で送迎し、家族の対応時は健康情報を伝えている。家族の意向で協力医療機関の往診を受けている方もいる。受診内容は個人ごとに記録しパソコンで管理している。                         |                                                                         |

ごりょうの丘 グループホーム

| 自己評価                            | 外部評価 | 項 目                                                                                                                | 自己評価(菜の花)                                                                                                            | 外部評価(事業所全体)                                                                                                     |                                                         |
|---------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
|                                 |      |                                                                                                                    | 実施状況                                                                                                                 | 実施状況                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容                                       |
| 31                              |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | 常勤の看護師を配置しています。月に一度往診に来て頂いています。また、一人ひとりの健康管理については、医師から指示を頂けるよう連絡体制を整えています。                                           |                                                                                                                 |                                                         |
| 32                              |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中は面会等させて頂き、医療機関と情報交換を行い、また、リロケーションダメージの軽減から、早期退院について病棟担当者と相談し、受け入れ体制を整えています。                                       |                                                                                                                 |                                                         |
| 33                              | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居契約時に重度化した場合の指針を説明し、ご本人ご家族様の意向確認を行っています。また、医療機関と24時間協力を頂ける体制を整えています。看取り支援の実績はありませんが、終末期を迎える方々への関わり方等の研修を実施していく予定です。 | 「グループホームにおける重度化対応に関する指針」に看取りの考えを明記し、利用開始時に説明している。口腔摂取ができない場合は対応が難しい旨も伝えている。重度化して看取りを行う際には「看取り支援確認書」を交わし開始としている。 |                                                         |
| 34                              |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                             | 全職員が定期的に救急救命の講習会に参加しています。グループホーム内にAEDを設置し緊急時の対応に備えています。また、看護師といつでも連絡が取れる体制を整備しています。                                  |                                                                                                                 |                                                         |
| 35                              | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                             | 年に2回日中と夜間を想定した避難訓練を実施し、消防や地域の方のボランティア様の協力を頂いています。また、災害時に備えた炊き出し等の訓練も実施しています。                                         | 運営推進会議と同日に消防署指導の下で、夜間の水害を想定した避難訓練を実施している。推進委員や地域のボランティアの参加を得て、焚きだしも行い確認している。備蓄品類は事業所内に保管したが地震の想定は今後の課題になっている。   | 防災マニュアルを再確認し、地震を想定し事業所内の危険箇所や各ケア場面での対応について話し合うことを期待したい。 |
| <b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |                                                                                                                    |                                                                                                                      |                                                                                                                 |                                                         |
| 36                              | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                                                  | 尊厳を常に大切にし、日々の生活の関わりの中でその人その人の合わせた対応を心掛けています。                                                                         | 利用者の呼びかけは「さん」づけとし、職員は内部研修で接遇や倫理などを学んでいる。個人記録の保管や申し送りを事務所でやっている。                                                 |                                                         |
| 37                              |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                                                       | ご本人の希望や思いを尊重し、会話の中で工夫を行い、多く関わるよう心がけています。                                                                             |                                                                                                                 |                                                         |
| 38                              |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                   | ご本人のご病気を考慮した上で希望、体調、タイミングに合わせて、起床、睡眠、食事、運動、入浴等安心した日常生活を送って頂けるよう支援させて頂いています。                                          |                                                                                                                 |                                                         |
| 39                              |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                                                    | 定期的な理美容訪問がある他、ご本人の行きつけの理美容に行かれる方もいます。外出時以外でもお化粧をしたり、ご本人の好みの服を着用頂くなど、毎日を楽しんでいただけるよう支援しています。                           |                                                                                                                 |                                                         |

ごりょうの丘 グループホーム

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                             | 自己評価(菜の花)                                                                                                        | 外部評価(事業所全体)                                                                                          |                   |
|------|------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|      |      |                                                                                 | 実施状況                                                                                                             | 実施状況                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている    | リクエストメニューを聞き献立に取り入れています。又食事準備や配膳を共に行い、自発的に行っていただける方もいます。気分転換を目的に外食やお弁当を外で食べるなどの楽しみも持っています。                       | 利用者にリクエストを取りながら献立を作り、美味しい食事を提供している。買い物や調理、味付けを手伝う利用者もいる。弁当を持参での花見やホテルでの外食、寿司の出前を楽しむこともある。            |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | 毎日の食事量や水分量を記録し把握しています。個人ごとに血液検査の結果含め健康状態から保健師のアドバイスをもらいながら支援しています。                                               |                                                                                                      |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 食事後、お口の中の清潔を保っています。ご自分でできない方はスタッフが介助を実施したり、歯科医師や衛生士による往診での助言や治療も積極的に実施しています。                                     |                                                                                                      |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | 排泄表に24時間の記録を残し、個人の排泄パターンを把握しています。そのうえで自立に向けた支援を検討し支援しています。もし、失敗されたとしても、その方の尊厳と清潔を保持できるよう対応しています。                 | 「介護日誌」に全員の排泄状況を記録し、パターンを把握している。ほとんどの利用者はトイレで排泄ができる。誘導時は羞恥心に配慮しながら声かけしている。利用者の状況に合わせて排泄用品を検証し、選択している。 |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 水分量や食事量とその内容を考えてお食事の提供を行っています。また運動を実施するなど、自然な形で排便につながるよう考えて支援していますが、便秘が続くときは看護師による薬剤のコントロールも実施しています。             |                                                                                                      |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | ご本人の希望に沿って入浴して頂いています。バイタル測定や水分補給も実施し、入浴前後のフォローも適切に実施しています。気分転換に、年に数回温泉にも外出しています。                                 | 利用者が好きな時に入浴可能で、各利用者が週3回程度、入浴している。ヒバの浴槽で香りを楽しみながら入浴できる。希望を聞いて入る順番を変えたり、同性介助としている。年に数回、日帰り入浴に出かけている。   |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | 昼夜逆転しないように、日中に体を動かしたり安心できるための取組を行っています。ご本人に無理が掛からないよう利文具でも休める配慮をしています。夜間のトイレが頻回な方には看護師やご家族と相談し受診を進めるなどの取組もしています。 |                                                                                                      |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 1人1人の薬剤情報を、スタッフ全員で共有し、必要に応じて看護師から助言をもらいながら支援に努めています。                                                             |                                                                                                      |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 1人1人に合った役割を日常生活の中で自然に行っていただけるよう声を掛けています。又、外食や出前等入居者の嗜好と考え楽しんで頂けるよう支援させて頂いています。                                   |                                                                                                      |                   |

ごりょうの丘 グループホーム

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                                                              | 自己評価(菜の花)                                                                                      | 外部評価(事業所全体)                                                                                                                         |                   |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|      |      |                                                                                                                                  | 実施状況                                                                                           | 実施状況                                                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | ご本人の希望に沿って外への散歩、買い物、自宅に行かれる等行われています。ご家族様と共に協力し合い、外出支援を行っています。行事の運営の中でも外出を取り入れています。             | 施設の中庭や玄関前のテラスで気軽に外気浴ができ、中庭でゲートボールや畑仕事を楽しんだり、近くの公園や遊歩道に散歩に出かけている。年間行事は初詣や花見、サクランボ祭り、ラベンダー鑑賞、ランタン見物など豊富である。往診よりも通院が中心のため、冬も通院での外出は多い。 |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 施設内では自動販売機や売店、ヤクルト販売等自由に買い物ができるようになっていて、金銭管理もその方の有する能力に合わせて、ご家族とも相談の上支援させて頂いています。              |                                                                                                                                     |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | ご本人より希望があれば、ご家族様や友人、知人へいつでも連絡をできるよう支援しています。又、遠方の方との手紙のやり取りをされている方もいます。                         |                                                                                                                                     |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有空間は誰でも、いつでも使用でき、心地よさを考え、共に掃除などの家事を行い、よりよい環境を作るよう心掛けています。何か所かに分けて安心してくつろげるスペース作り(設え)も工夫しています。 | 関連施設と一体的な建物で、小規模多機能事業所や地域交流館には自由に行き来ができる。ヒバの浴槽や畳のスペース、土間、ベランダなどがあり、壁には利用者の作品を飾り、本棚も設置している。飼っている犬やウサギと触れ合い、地域交流館では住民や子どもと交流している。     |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | お一人おひとりの生活リズムで過ごせるよう、カフェスペース、ベンチスペース、TVスペース等を用意し、安心して過ごせる工夫、環境づくりをしています。                       |                                                                                                                                     |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 居室内には今まで使用されていた、その方の使い慣れた馴染みのある家具や写真を持参していただき、少しでも自宅での環境に近づけ、安心して生活を送って頂けるよう心掛けています。           | 居室は、利用者がベッドやタンス、テレビなど馴染みの品物を持ち込んでいる。壁にはカレンダー、寄せ書きなどを自由に飾り付けしている。各部屋に洗面台があり、湿度維持のため濡れタオルを掛けている部屋もある。                                 |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                            | ご本人のできることをさりげない声掛けで行えるよう支援させて頂いています。又、居室がわかりやすいよう表札をかけたりのれんをつけるなど、ご本人やご家族と相談しながら工夫しています。       |                                                                                                                                     |                   |

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

|         |                      |            |            |
|---------|----------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 019300072            |            |            |
| 法人名     | 株式会社すまいるふらの          |            |            |
| 事業所名    | ごりょうの丘 グループホーム（イチョウ） |            |            |
| 所在地     | 富良野市字下御料             |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成29年11月26日          | 評価結果市町村受理日 | 平成30年1月23日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先URL | <a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0193000072-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0193000072-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a> |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 評価機関名 | 株式会社 サンシャイン           |
| 所在地   | 札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F |
| 訪問調査日 | 平成29年12月5日            |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

|                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ごりょうの丘グループホームは、富良野スキー場のふもとに位置し、富良野市街地の景色や朝日ヶ丘公園の桜や紅葉を眺められる自然に囲まれています。施設は交流館、託児所、小規模多機能ホームを渡り廊下で行き来ができ、地域の方々と交流館で体操したり、子ども達と歌ったりしています。お風呂は青森ヒバを使用しており、お湯を入れると木の香りがします。お一人おひとりのご希望に添えるよう入浴を楽しんで頂いています。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

|  |
|--|
|  |
|--|

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>（参考項目：23,24,25）     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>（参考項目：9,10,19）  | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>（参考項目：18,38）           | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>（参考項目：2,20）                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>（参考項目：38）                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>（参考項目：4） | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>（参考項目：36,37）   | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、活き活きと働けている<br>（参考項目：11,12）                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>（参考項目：49）                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>（参考項目：30,31）       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>（参考項目：28） | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                             |                                                                   |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価       | 外部評価 | 項 目                                                                                                                          | 自己評価(イチョウ)                                                                     | 外部評価 |                   |
|------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|            |      |                                                                                                                              | 実施状況                                                                           | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅰ.理念に基づく運営 |      |                                                                                                                              |                                                                                |      |                   |
| 1          | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着 型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                                                          | ・職員が常に理念を共用し来訪者の方にも見えるよう掲示。その方らしい生活を支援している。                                    |      |                   |
| 2          | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                                                           | ・地域交流を夏祭り、町内盆踊り、運動会等さまざまな行事に参加し交流を図っている。                                       |      |                   |
| 3          |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                                                         | ・認知症カフェ、認知症サポート講座、認知症に対する理解を深めたり地域の方も参加できる研修を開催している。                           |      |                   |
| 4          | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                      | ・運営推進会議に参加頂き意見交換やアドバイスをいただいている。                                                |      |                   |
| 5          | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                                                | ・定期的に行っており、町内会長やご家族から意見アドバイスをいただいたり、活動内容・環境整備のに反映している。                         |      |                   |
| 6          | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・夜間防犯上の施錠は行うが、それ以外の時間帯は、開放。外への出入りは職員が付き添うようにし、身体拘束のマニュアルを理解、拘束にあたらないよう取り組んでいる。 |      |                   |
| 7          |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                       | ・虐待防止委員会を設置し定期的に研修を行って防止に努めている。                                                |      |                   |

ごりょうの丘 グループホーム

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                            | 自己評価(イチョウ)                                                                       | 外部評価 |                   |
|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|      |      |                                                                                                | 実施状況                                                                             | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | ・年に一度、権利擁護研修を全体会議で設け職員全員が意識を高めるよう努めている。                                          |      |                   |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | ・入居者、家族に対し分かりやすく説明し質問・疑問には細やかな対応ができる体制をとっている。                                    |      |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                      | ・意見箱を設置し、ご家族の来訪時に意見を聞くようにしている。                                                   |      |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | ・月に一度のユニット会議で、職員同士の意見交換・提案・意見を出し合い仕事に取り組みやすい環境を設けている。                            |      |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | ・職員一人ひとりの力を発揮出来るよう努めている。<br>・職員の意見を聞き取りし、仕事に取り組みやすい環境作り、人事考課で個人目標を設定し自己啓発を促している。 |      |                   |
| 13   |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | ・内部、外部研修の機会を確保。個人目標に合わせ自らスキルアップを学ぶ機会を設けている。                                      |      |                   |
| 14   |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ・他施設見学、見学の受入、地域ケア会議により交流を深めている。                                                  |      |                   |

| 自己評価                | 外部評価 | 項 目                                                                                     | 自己評価(イチョウ)                                                                                     | 外部評価 |                   |
|---------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|                     |      |                                                                                         | 実施状況                                                                                           | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |      |                                                                                         |                                                                                                |      |                   |
| 15                  |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ・本人の生活歴、その方らしい生活を送っていただけるよう、困りごとや不安に気付き相談しやすい環境と、信頼関係作りを心がけている。                                |      |                   |
| 16                  |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ・入居前に、ご本人・ご家族からの意向と相談を聞き取り、要望に応えるよう努め信頼が持てる関係作りに努めている。                                         |      |                   |
| 17                  |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | ・施設見学と面談を行い、本人と家族の相談と希望する支援の聞き取りを行い課題分析した後、サービス利用を視野に検討している。                                   |      |                   |
| 18                  |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | ・ご本人の培ってきた経験と知恵を教わり、役割の持てる生活支援を心がけている。                                                         |      |                   |
| 19                  |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている            | ・面会時には日頃の様子を伝え、なかなか面会に来られない家族には、電話等で様子を伝えている。月に1度発行しているホーム便りでは写真で様子が見られるようにし、家族と共に支える関係を築いている。 |      |                   |
| 20                  | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | ・友人や知人の来訪時には、出入りしやすい雰囲気作りに努め希望があれば外出の機会も設け関係の継続に努めている。                                         |      |                   |
| 21                  |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                    | ・居室にいる時間が長くないよう、体操、掃除、家事、個々が望むレクや手芸、外作業等のお誘いをし入居者同士の交流と関係を支えている。                               |      |                   |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項 目                                                                                                     | 自己評価(イチョウ)                                                          | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                         | 実施状況                                                                | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                     | ・退去されても、機会があれば交流し以前と変わらない関係作りを行っている。本人も含め家族からの相談にも対応している。           |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                         |                                                                     |      |                   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                            | ・本人からの聞き取りや関わりの中で、自分らしく過ごせるような支援の取り組みをユニット会議で話し合い検討している。            |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                        | ・本人とご家族や周囲の人から、生活歴や嗜好性格の聞き取りをし馴染のある生活に近付けるよう努めている。                  |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                      | ・個々の自分のできることできないことの見極めと、できることを維持し意欲が持てるよう配慮した支援に努めている。              |      |                   |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ・日常生活での会話から、聞き取りした情報をミーティングで話し合い介護計画に反映させている。                       |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                         | ・個々の日頃の食事や水分摂取バイタルの記録から、体調状況の変化に気づき職員間で情報共有し変更が必要な時には、介護計画の見直しをし実践。 |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                | ・利用者のニーズに合わせたサービスと事業所の情報提供をし利用者と家族がサービスの選択ができる様対応している。              |      |                   |
| 29                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                          | ・地域の方、ボランティア、学生等の協力の中で、本人の役割を見いだせる環境作りの支援に取り組んでいる。                  |      |                   |
| 30                                 | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                     | ・本人、家族の希望に応じ適切な医療が受けられる様配慮している。受診には看護師・介護員が対応。往診でも対応している。           |      |                   |

ごりょうの丘 グループホーム

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                                                | 自己評価(イチョウ)                                                                              | 外部評価 |                   |
|------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|      |      |                                                                                                                    | 実施状況                                                                                    | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31   |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | ・常勤の看護職員を配置しており、体調の変化・異変時には報告相談し日々の情報を伝えている。報道相により、適切な看護を受け受診につなげている。                   |      |                   |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ・入退院の際は、施設とかかりつけの病院で日々の状況、入院時の様子や治療内容など情報交換を行っている。入院中は、面会に出向き本人の状況の把握や退院後の支援に活かしている。    |      |                   |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | ・重度化した場合の意向を利用者本人・家族と確認し多職協議により継続的支援を図り、医療関係と24時間体制の連携が取れている。                           |      |                   |
| 34   |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                             | ・全職員が、新人研修で救命救急講習を受け実践力を身に付けている。AEDの設置・事故発生時緊急マニュアルを作成し急変に備えている。                        |      |                   |
| 35   | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                             | ・年2回、日中夜間想定で避難訓練を行っている。地域の方、ボランティア参加で協力を持っている。運営推進会議で結果報告や災害被災者の受入の報告をし意見アドバイスをいただいている。 |      |                   |

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

|    |    |                                                                                   |                                                                                      |  |  |
|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                 | ・人生の先輩として尊敬の気持ち、本人の話の傾聴、考え方や思いを確認し誠意ある対応に努めている。                                      |  |  |
| 37 |    | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | ・利用者の状態に合わせ、わかりやすい言葉かけの会話の工夫。職員から選択肢を提示したり自己決定ができるよう努めている。できるだけ希望に添える生活を送れるよう支援している。 |  |  |
| 38 |    | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ・やりたい事など、個々の希望に合わせた生活になるよう日頃の会話から聞き出し、体調をみながら支援している。                                 |  |  |
| 39 |    | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | ・朝や入浴時などの衣類選びを本人の好みを聞きながら一緒に行っている。月1回の理容訪問は希望があれば利用できる。外出や行事の時などは、意識したお洒落の支援に努めている。  |  |  |

ごりょうの丘 グループホーム

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                             | 自己評価(イチョウ)                                                                        | 外部評価 |                   |
|------|------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|      |      |                                                                                 | 実施状況                                                                              | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている    | ・一緒に調理を行ったり、好みを聞き買物同行するなど食事が生活の中の楽しみになるよう支援している。                                  |      |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | ・食事、水分の摂取量、食事内容を記録に残し個々に合わせた必要量が摂取できるよう回数をわけたり好みの食べものの提供で不足を補う支援をしている。            |      |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | ・毎食後の口腔ケアの声掛け、介助を行い清潔保持に努めている。往診で歯科も受けられている。                                      |      |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | ・排泄パターンの確認、情報共有を行いパット数の減少や排泄の自立にむけ、トイレ誘導などの支援を行っている。                              |      |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | ・乳製品、野菜、水分の摂取を意識的に提供。運動の支援や腹部マッサージを行い便秘予防に取り組んでいる。体調によっては、看護師と相談し下剤の使用で調整することもある。 |      |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | ・個々の生活習慣や希望に合わせて入浴対応。バイタル測定、体調確認し場合によっては清拭、足浴、手浴を行い対応している。                        |      |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | ・昼寝の時間を作り、長時間眠る事が無いように声掛けし夜間に安眠できるよう日中の過ごし方の工夫や環境を整え支援している。                       |      |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | ・個々の薬の内容、副作用の情報共有。処方薬の変更がある場合は生活(精神・身体)の変化を記録に残している。                              |      |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ・日々の暮らしの中で、出来る事・出来ない事を見極め利用者に役割を持って生活できるよう支援をしている                                 |      |                   |

ごりょうの丘 グループホーム

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                                                              | 自己評価(イチョウ)                                                                           | 外部評価 |                   |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|      |      |                                                                                                                                  | 実施状況                                                                                 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | ・家族や地域の方々に協力を得ながら自宅への外泊、外出行事、畑の野菜の収穫祭等、一人ひとりの希望に添えるよう支援に努めている。                       |      |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | ・家族、本人と相談し個々にあった支援を行っている。施設の売店や自動販売機他、外での買物を楽しめるよう支援している。                            |      |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | ・入居時に、連絡方法を家族と相談し電話での連絡や手紙に近況を知らせる意味での写真を同封しお渡ししている。                                 |      |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・共有スペースは1日最低2回の清掃、消毒を行い和室スペースやソファ等でリラックスされ休まれる空間を提供している。中庭には、季節を感じる野菜や花を植え観賞を楽しんでいる。 |      |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | ・個人で休むことのできる空間や、利用者同士が関わり合える空間の提供をしている。                                              |      |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | ・家族と相談し、自宅で使用していたタンス等の家具類を持ち込んでいただき、居心地のよい居室作りに努めている。                                |      |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                            | ・自分の部屋と認識できる様、のれんや本人手作りの表札を設置し、自分の部屋とわかる様に支援し、存在能力を引き出すよう努めている。                      |      |                   |

(別紙4-2)

目標達成計画

事業所名 ぎりょうの丘グループホーム(菜の花)

作成日：平成 30年 1月 18日

市町村受理日：平成 30年 1月 23日

【目標達成計画】

| 優先<br>順位 | 項目<br>番号 | 現状における問題点、課題                                                | 目標                     | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                                   | 目標達成に<br>要する期間 |
|----------|----------|-------------------------------------------------------------|------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1        | 23       | 一人、一人の思いや暮らし方希望意向の把握に努める。困難な場合は、本人本位に検討している。                | 元気の素シートを新規作成する。        | ライフサポートプラン、元気の素シートを共に見直し全スタッフで意識をする。プランと元気シート同じ所にファイリングし確認しやすい保管にする。 | 2ヵ月            |
| 2        | 35       | 火災や地震、水害等の災害に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに地域との協力体制を築いている。 | 会社全体で、地震時を予測した災害訓練を行う。 | 避難に必要な対策を検討する。各、居室GH全体の安全確認をする。(見直し)環境を整える。                          | 6ヶ月            |
| 3        |          |                                                             |                        |                                                                      |                |
| 4        |          |                                                             |                        |                                                                      |                |
| 5        |          |                                                             |                        |                                                                      |                |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

(別紙4-2)

目標達成計画

事業所名 　　ごりょうの丘グループホーム(イチヨウ)

作成日：平成 30年　1月 18日

市町村受理日：平成 30年　1月 23日

【目標達成計画】

| 優先<br>順位 | 項目<br>番号 | 現状における問題点、課題                                                                     | 目標                                                                                                                      | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                                                           | 目標達成に<br>要する期間 |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1        | 23       | 「元気の素」シートに暮らしや趣味嗜好などが分かり<br>易く記載されているので、変化の追記や定期的な更新<br>で現状の姿を把握し、共有できるように期待したい。 | 「元気の素」シートを完成させ、定期的に見直しをし、<br>職員が確認しやすい所に保管し、共有できるようにす<br>る。また、毎日の生活の中で昔やっていた事など、<br>シートの中から支援できそうなことを取り入れていくよ<br>う心がける。 | 本人・家族様からの情報収集。1年毎に「元気の素」<br>シートの見直しをする。日常生活の中で、シートの中<br>から出来そうなことを取り入れ、元気に暮らして頂ける<br>よう支援する。 | 1ヵ月            |
| 2        | 35       | 防災マニュアルを再確認し、地震を想定し事業所内の<br>危険箇所や各ケア場面での対応について話あうことを<br>期待したい。                   | 職員全員が火災・災害・地震の対処が出来るようにす<br>る。                                                                                          | 年2回の避難訓練の際、地震の対処の教育も併せて<br>実施する。                                                             | 6ヶ月            |
| 3        |          |                                                                                  |                                                                                                                         |                                                                                              |                |
| 4        |          |                                                                                  |                                                                                                                         |                                                                                              |                |
| 5        |          |                                                                                  |                                                                                                                         |                                                                                              |                |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。